

(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名	交通安全施設等整備事業		路河川名等	(主)長野上田線		
事業毎の通番	15	市町村名	千曲市	箇所名(ふりがな)	代(だい)	
事業目的	主要地方道長野上田線は長野市と上田市を結ぶ幹線道路であり、非常に交通量が多い路線である。しかしながら当区間は歩道が未整備で、車両・歩行者双方の安全性に支障をきたしている。また、近隣には小学校もあり歩行者も多く、地域住民からの安全対策要望が高まっている状況である。 このため、歩行者の安全を確保することを目的とし、歩道を設置し、歩行者の安全な通行を確保したい。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け	第5編 施策の総合的展開 第4章 4-2 県民生活の安全確保 第5章 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり	事業実施の根拠法令等	社会資本整備重点計画 交通安全施設等整備事業に関する法律			
関連する事業、計画等	千曲市総合計画後期基本計画					
保安対象・範囲 受益対象・範囲	八幡小学校 通学者 他 現況自動車交通量:6,153台/日、現況自転車歩行者交通量:58台・人/12h					
着手年度	平成27年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	—	国庫	その他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	歩道設置工 L=480m、W=2.5m(片側)			350,000	210,000 126,000 14,000	
年度事業内容(主な工種)	測量業務 1式			0	0 0 0	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	歩行者の安全確保、通学路の指定				
	間接的効果(定量的・定性的)	通行車両の交通事故抑制				
評価の視点	必要性	○現況自動車交通量 : 6,153台/日 ○現況自転車・歩行者交通量 : 58台・人/12時間			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 1つ(千曲市総合計画後期基本計画) ○緊急輸送道路の路線指定 : 県緊急輸送路(2次)に指定			評価	A
	効率性	○事業期間 : 4年間(H27~H30)			評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数 : 交通事故発生3件以上(H23年度2件、H24年度1件発生) ○通学路対策 : 通学路指定あり(千曲市立八幡小学校) ○現況の歩道幅員 : 歩道なし			評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知(H25.8.5事業説明会を開催)			評価	B
		○地域の取り組み : 協力的である ○地域の合意形成 : 合意形成が図られている ○住民との協働 : 計画との住民協働なし			評価	
部意見	小学校までの歩道が未整備であり、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。	行政改革課意見	長野市と上田市を結ぶ幹線道路であり、非常に交通量が多いことから、必要性、重要性、緊急性が認められる。	評価結果	総合評価	
				○	B	

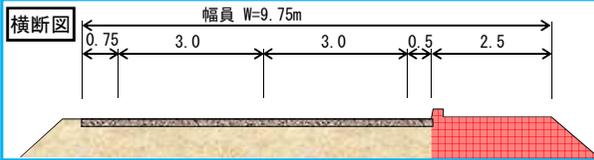


位置図



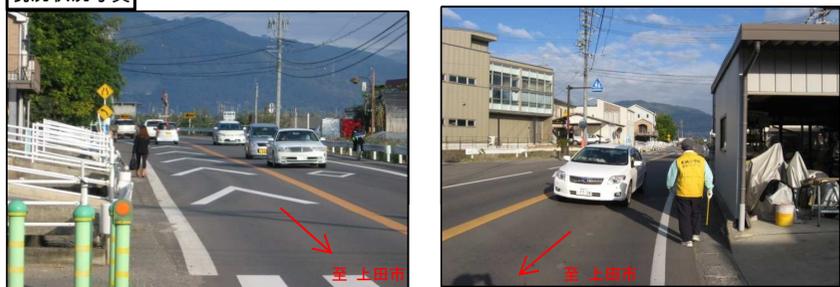
平面図

歩道設置工 L=480m



横断面図

幅員 W=9.75m



現況状況写真

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当箇所は千曲川左岸側を南北に連絡する幹線道路であり、非常に交通量が多く交通事故が発生していることから、事故を未然に防ぐための安全対策が必要となっている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	千曲市及び地元区から、歩行者の安全対策として早期歩道整備を要望されている。
③事業説明等の経緯	平成25年8月に地域住民への事業説明が完了し、早期の事業着手が求められている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	盛土箇所へ積極的な緑化を計画し、自然環境へ配慮している。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により安全・安心な生活環境を確保することで、暮らしやすいまちづくりへの効果も期待される。
⑦その他	工法の比較検討を実施し、事業費のコスト削減に努めている。

事業概要説明図表

事業周辺環境

事業代表地点の緯度経度

北緯:N 36° 30' 15.19"

東経:E 138° 6' 52.87"